



2011～2012年度  
R I テーマ

Reach Within to Embrace Humanity  
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー (国籍・インド)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0801 別府市北浜1-14-15  
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 亀井 孝	理事 近藤 賢司	役員 会長 亀井 孝	S A A 木村きぬゑ
〳 高宮 勝美	〳 平野 英壽	副会長 高宮 勝美	直前会長 木村きぬゑ
〳 森 宗明	〳 津末美代子	幹事 森園 伸也	
〳 村津 忠久		会計 河村 貴雄	

VOL. 24 - 7  
2011年8月16日

## 第1061回例会

会報委員長 大島由美子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 手に手つないで
- ◆唱 歌 海
- ◆B. G. M 「ラテンヒット曲集」より  
コーヒー・ルンバ  
ブラジル  
そよ風と私 他
- ◆ゲスト 塩地亜希子さん  
(2010-2011年度国際親善奨学生)

### 会長の時間

会長 亀井 孝

みなさん、こんにちは！

本日は塩地亜希子さんのゲスト卓話です。塩地さんのブログ資料を配布していますので、よろしくお祈りします。

昨日は前回にも話をさせていただきましたが、“終戦の日”でした。会員の皆様は、何を考え、どう過ごしていましたか？

私はN.H.Kで、“9.11”テロに立ち向かった日系人という放送を見ました。その中の登場人物、日系人であり、下院議員でもあるノーマン・ミネタ氏の存在を知り、大変感動しました。

それから、来週の例会のお願いがあります。来週は、本田光曠ガバナー公式訪問例会です。12:30から13:30まで、公式訪問例会です。その終了後13:30から14:30まで、ガバナー懇談会がありますので、来週は全員参加で12:30から14:30までの時間を空けていただきたいと思います。

### ◆出席報告 出席委員長 衛藤 秀子

本日	会員総数	25名
	出席者	16名
	事前メイクアップ	0名
	理事会承認	0名
	出席免除	2名
出席	欠席数	7名
	出席率	69.57%
前々回の訂正	出席率	68.18%
	事後メイクアップ	4名
	理事会承認	0名
	出席免除	3名
	修正出席率	90.91%
8/2	連続	-回
	通算	743回 100%

### ・メイクアップ

事前

事後 梶原 (大分1985)

森園、高宮 (日出)、堀 (別府東)

欠席 津末、堀、平野 (英)、梶田、河村、

中尾、大江

出席免除 溝部、鳴海

す。よろしくお祈りします。

『ノーマン・ミネタ氏は、日系人として初のアメリカ本土選出の下院議員です。9.11テロ発生後、アメリカで起きたのは、在米アラブ・イスラム系の人々への暴力や差別でした。こうした動きに心を痛



め、厳然と異議を唱えたのが、日本にルーツを持つ、多くの日系アメリカ人でした。その中心となったのが、テロ発生当時、航空行政のトップである運輸長官だった日系二世のノーマン・ミネタさん（日本名・峯田良雄）。ミネタさんは、空港の荷物チェックなどの際、アラブ・イスラム系の人々に対する、人種による選別・差別の禁止を宣言します。この対応に、マスコミや政界からは批判が殺到、しかしミネタさんは、頑として自らの意志を貫きました。さらに、たくさんの日系一般市民も、アラブ・イスラム教系の人たちを守ろうと独自に行動を始めました。全く予想外のテロリストの攻撃にアメリカ中が動揺し混乱を極めていた時、日系人たちが奮い立たせたものとは、いったい何だったのでしょうか。

それは、70年前に始まった太平洋戦争で日系人たちが直面した、強制収容という過酷な体験でした。9.11テロに立ち向かった日系人たちには、共通する強い思いがあったのです。「強制収容に隔離された自分たちの悲劇的な差別体験を、ほかの人々に二度とさせてはならない！」日米の戦いの陰にあった、人種差別に基づく過酷な体験。その記憶に突き動かされ、9.11テロ時に行動を起こしたミネタさんら日系人たちの“闘い”は、テロから10年がたつ現在まで、様々な形で続いています。』

日出RC 8月30日（火） } の例会は定款第  
湯布院RC 8月31日（水） } 6条第1節（C）  
別府北RC 8月31日（水） } に基づき休会

6. 次週の予定  
「本田光曠ガバナー公式訪問例会」  
※12：30よりホテルニューツルタ例会場に於いて開催いたします。  
（13：30～14：30まで懇談会を開催いたします。）
7. 本日の回覧
  - ①大分中央RC創立30周年記念誌
  - ②「大分第3分区本田光曠ガバナーとの懇親会」出・欠席（8月24日）
  - ③「本田光曠ガバナー公式訪問例会」出・欠席（8月23日）
  - ④竹田RC 週報
  - ⑤米山梅吉記念館 館報
8. 本日の配布
  - ①週報No.1060

## 幹事報告

幹事 森園 伸也

### 一会員増強および拡大月間一

1. 本日の卓話  
「オーストリア留学を終えてのご報告」  
2010-2011年度R財団国際親善奨学生  
ピアニスト 塩地亜希子さん
2. 本日のゲスト  
塩地 亜希子 さん  
(2010-2011年度R財団国際親善奨学生/ピアニスト)
3. 委員会報告  
ロータリー探究：  
No.45「新世代に向けたロータリー活動の展開」  
No.440「再び新世代への奉仕を考える」  
鳴海淳郎R情報委員長
4. お祝い  
配偶者誕生日 堀 誠さん（8月17日）  
※記念品をお渡し致します。
5. 例会変更のお知らせ  
大分臨海RC 8月29日（月）の例会は、新会員歓迎会の為 同日18：30～大分全日空ホテルオアシスタワー折鶴に時間変更

## スマイルボックス 副委員長 平野 教康

- 亀井会長  
塩地さん、ようこそ別府中央RCへ。
- 高宮会員  
塩地さん、お帰り。今日の卓話を楽しみにしています。9月16日のコンサートも楽しみにしています。  
追伸、今日、ロータリー副会長の名刺を頂きました。会員増強ガンバルゾー。
- 森園会員  
本日、仕事のため、途中で失礼します。  
塩地さんの卓話が聞けなくて残念。
- 村津会員  
今日は、塩地さんの「ドイツ・オーストリア土産話」を楽しく聞きたいと思います。  
期待してスマイル。
- 衛藤会員  
塩地様ようこそ。卓話楽しみにしています。
- 梅津会員  
塩地亜希子さん、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願い致します。
- 岐部会員  
塩地亜希子さん、またまたいらっしゃい。  
今日の卓話、楽しみにしています。
- 森会員  
塩地さん、お帰りなさい。これからのあなたの活躍に期待しています。

## ○平野(教)会員

僕の食当たり回復にスマイル。  
近藤夫婦がガン保険と医療保険に入ってくれました。ありがとうございます。スマイル。

## 卓 話

ロータリー国際親善奨学生として、  
オーストリア留学を終えて。

塩地亜希子

ご無沙汰しております。

オーストリア留学から別府へ帰ってまいりました。

1年というのとあつという間ですが、中身の濃い1年でやはり一年経つと、短く感じますが自分の考えや状況も変わるもんだなあと感じています。1年間の報告をさせていただきたいと思います。

私が暮らしたオーストリアのフェルトキルヒという町はウィーンとは正反対のところに位置するスイス寄りの町です。比較的小さな町ですが、自然がたくさんあり、美しいところです。

電車で10分乗れば、スイスにはいれますし、一時間半あればチューリッヒにつきます。40分でドイツに入ることもできます。冬は厳しく、氷点下になることもしょっちゅうで、雪も多く積りました。今年の夏は涼しいようで、あまりサンダルを履く機会もありませんでした。7月中は特に寒く、私は毛糸のカーディガンを着ていたくらいです。

住居は、学生寮に住んでいました。山の上に寮があって、330段の階段を毎日登らなければならず、登りきるといつも息切れしてしまうくらいで、はじめのころは大変しんどく感じていました。寮では、音大生以外の人も住んでいて、例えばアフガニスタンやシリアといった内戦が起きている国からきている人もいて、そういった人から話をきくと、育ってきた環境や文化の違いを感じたものです。またいかに自分が無知なのかを感じました。どうやらオーストリアが彼らを保護しているらしいです。

学校では多くの良い友達できました。ドイツ、オーストリア、トルコ、コロンビア、ペルー、韓国、スイスなど国際豊かな友達から、各国の性格や文化、考え方の違いを感じましたが、自分の考えの幅が広がったように感じますし、以前より国際問題にも関心を持つようになりました。以前ミュンヘンにいたときは、大きな学校だったので、なかなかみんなと仲良くなるのも難しかったのですが、ここでは比較的小さな学校なので、みんなと仲良くなることができました。もともと音楽だけ

でなく、できるだけ色々な国の人と関わって、友人を作りたいと思っていたので、とてもうれしく思っています。

彼らからは多くの言語を耳にし、言語に以前よりずっと興味を持つようにもなりました。ドイツ語も少しは上達し、ドイツ歌曲への理解も深まって、ますます語学への興味が増えています。ヨーロッパでは、2ヶ国語話せるのは当たり前で、中には5ヶ国語以上できるような人もいて、とてもうらやましく思いました。音楽家として語学は、とても大切なものなので、引き続き勉強を続けたいと思っています。

音楽の面では、尊敬する先生の下で、レパートリーを増やすことができました。

先生はウィーンフィルの団員やベルリンフィルの団員とよくCDを作ったりしている室内楽奏者として高く評価されているピアニストで、彼から室内楽を学べたことは、特によかったです。また2月には先生が学校のホールでウィーンフィルのチェリストとCD録音した際には、CDがどうやって作られるのか、仕事現場を見れ、また一流の演奏が聴けて、とてもよい経験でした。またちなみにCD会社は日本のカメラタという会社で毎年先生と仕事をしているCD会社です。先生がその方々をお願いしてくれたおかげで、私も一曲だけ、最高のマイクと技術で録音してだけきました。また、録音技師さんから色々アドバイスも頂けて、プロフェッショナルな現場を味わえてとても刺激적でおもしろかったです。

また学内はもちろんのこと、学外でも演奏するチャンスがいくつかありました。また、仕事もまわってくるのがあって、一度はオペラの伴奏のお手伝いもしました。

プロのオペラプロジェクトだったので、レベルが高く、歌手や演出家、指揮者などイタリアやドイツ、ポーランドなどからよばれたプロの方々のお仕事でした。

どうやって、演出していくかとか、演出家によって、いかにオペラの印象が異なっていくかなどオペラがどうやってできていくのか、現場をみれて、とてもおもしろかったです。緊張しました。





1年間で一番うれしかったことは、オーケストラと共演できたことです。オケとの共演ばかりは、運がないと、なかなかかわらないことなので、とてもうれしかったです。ラフマニノフを演奏しましたが、1人で弾いているときと違って、とても楽しかったです。

現地のロータリークラブでは温かく迎えてくださり、普段なかなか出会えない、大人の方々とお話することができました。また、こちらのロータリークラブでは、夏に日本の福島県の子ども達を呼んで、観光をしたり、新しい文化に触れたり、何日間かのプログラムを組んでいるそうです。とても驚きました。お手伝いできたらよかったです。私はすでに日本にいるのでお助けできませんでしたが、ロータリークラブのように、私の知らないところで世界では助け合いが行われているのだと感激していると同時に、私も少しでも社会に貢献できるようになりたいと考えています。

また、東日本大震災後、多くの方が声をかけて心配してくださり、ヨーロッパでも大きくとりあげられました。毎日のように日本のことをニュースで聞きました。ただ、私は地震や津波のほうに衝撃を受けていたのですが、彼らはもっぱら最初から原発のほうを心配していて、そこに違いを感じました。ヨーロッパ、特にドイツでは原発に対して非常に敏感で反対の意見が多いそうです。ドイツでは、遠い日本で起こったことなのに風の影響を懸念して、放射線測定器が在庫切れになるほど売れたそうです。

ヨーロッパでは、日本人音大生によるチャリティーコンサートが各地でたくさん行われました。私の住む町でも、みんなで何かできることをしようということで、コンサートを行いました。学校に相談したら、すぐにOKがでて、ホールを無償でかしてくれる上に、チラシやポスター、チ

ケットなどすべて作ってくれました。当初100人くらいはいるホールでやるはずが、あまりに問い合わせが多かったので、急速大ホールでやることになり、当日ホールには満席になるくらいの人々がきてくれました。寄付もたくさんしてくださり、合計約45万円ほどが集まりました。遠い日本のことをこんなに考えてくれる人がいるんだととても感激したと同時に、私もこれからは、ほかの人、国に目を向けてなければいけないと反省しました。

演奏会では、クラシック音楽とともに、日本歌曲「ふるさと」や「赤とんぼ」などを演奏しました。

また、テレビや新聞などで報道される、地震での日本人の冷静で協調性ある行動や思いやりの精神について多くの方が感嘆していました。私は誇らしく感じました。地震以後、私はできるだけ誤解のないよう、日本の現状について説明するようにしています。

1年間、あっという間でしたが、良い仲間にも恵まれて、楽しい一年を過ごすことができました。音楽家として、成長するには、音楽だけやっていてもだめだと私は常々思っているのですが、留学中に色々な人や文化と出会って、思い描いていた以上のたくさんの経験をつむことができました。きっとこれは、私のこれからの人生や音楽に大いに役に立っていくものだと思います。

さて、9月16日金曜日には、音の泉ホールで演奏会をさせていただきます。別府中央ロータリークラブには後援になっていただきありがとうございます。もしご都合えれば来てくださるとうれしです。

留学前から今までに引き続きご支援頂いて、ロータリークラブには大変感謝致しております。これからも引き続きよろしくお願ひ致します。

## 会員コラム

後藤 隆

### シャブ中（毒）の象さん

タイでは最近、シャブ中（毒）の象さんが増えているそうです。

かつては10万頭といわれたタイ国内の象生息数は、森林の減少（タイ国上の70%→25%）により飼育象が3500頭、野生象が5500頭（2004年）にまで減少しました。1989年にタイ政府が森林伐採を禁止したので減少は食い止められているのですが、それまで森林伐採に従事していた象さんたちが失業したため、その多くは観光キャンプで暮ら

しており、観光客と触れ合いながら町のなかを一日中歩かされて餌代を稼いでいます。

また今でも1000頭ほどが森林の違法伐採に従事しており、象さんが長時間労働に耐えられるように覚醒剤を投与されシャブ中になっているというわけです。なんだか恐ろしい話ですね。

でも象さんは体が大きいから覚醒剤の量も半端じゃないでしょうね。皮膚が厚くて硬いから注射できるんだらうか？こんなこと考えてるとますます眠れなくなるからここまで。